



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月3日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社
 コード番号 4182 URL <https://www.mgc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 倉井 敏磨
 (氏名) 西川 伸起

TEL 03-3283-5041

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	162,580	12.5	15,602	10.3	23,056	11.1	18,562	2.4
30年3月期第1四半期	144,463	7.0	14,144	42.3	20,752	68.7	18,131	112.4

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 17,900百万円 (△7.1%) 30年3月期第1四半期 19,276百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	86.90	—
30年3月期第1四半期	84.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	785,657	528,674	60.8
30年3月期	785,687	519,144	59.5

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 477,865百万円 30年3月期 467,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	24.00	—	35.00	59.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	320,000	5.6	27,000	△10.8	38,000	△9.5	30,000	△15.4	140.45
通期	640,000	0.6	53,000	△15.5	75,000	△7.1	61,000	0.8	285.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	231,739,199 株	30年3月期	231,739,199 株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	18,135,437 株	30年3月期	18,135,027 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	213,604,016 株	30年3月期1Q	215,815,204 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の詳細は、P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. その他	10
平成31年3月期第1四半期決算概要	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年6月30日）における世界経済は、原油価格の上昇や通商摩擦の激化懸念による不透明感の高まりがあったものの、全体としては緩やかな回復基調が続きました。また、国内経済も、原油高や人手不足による生産・物流コストの上昇がありましたが、企業収益や雇用情勢の改善が継続するなど、緩やかな回復の動きを見せました。

当社グループの売上高は、メタノールやポリカーボネートの市況が依然として高い水準を維持したことなどにより、増収となりました。

営業利益は、原燃料価格の上昇があったものの、ポリカーボネートの市況が高水準で推移したことに加え、特殊芳香族化学品や特殊ポリカーボネートの販売数量の増加もあり、増益となりました。

経常利益は、海外メタノール生産会社およびエンジニアリングプラスチック関連会社に係る持分法利益が増加したことなどにより、営業利益の増加分を超えて増益となりました。

以上の結果、売上高1,625億円（前年同期比181億円増（12.5%増））、営業利益156億円（前年同期比14億円増（10.3%増））、持分法利益70億円（前年同期比13億円増（22.7%増））、経常利益230億円（前年同期比23億円増（11.1%増））、親会社株主に帰属する四半期純利益185億円（前年同期比4億円増（2.4%増））となりました。

事業セグメント別の業績

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、セグメント間取引の調整方法及び当社の共通費等の配賦方法を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。そのため、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を当該変更後の数値と比較しております。

〔天然ガス系化学品事業〕

メタノールは、市況が前年同期に比べ大幅に上昇したことなどから、増収となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、全般的な販売数量の増加に加え、MMA系製品の市況上昇などもあり増収となりましたが、原料価格が上昇したことなどから、前年同期並みの損益となりました。

原油その他のエネルギー販売は、原油販売数量の減少などにより、前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高416億円（前年同期比73億円増（21.5%増））、営業利益9億円（前年同期比0億円減（6.6%減））となりました。また、海外メタノール生産会社を中心とする持分法利益を46億円計上した結果、経常利益は55億円（前年同期比6億円増（12.3%増））となりました。

〔芳香族化学品事業〕

特殊芳香族化学品は、原燃料価格の上昇があったものの、メタキシレンジアミンや芳香族アルデヒドの販売数量が増加したことなどから、増収増益となりました。

汎用芳香族化学品は、原燃料高による採算悪化に加え、高純度イソフタル酸の市況が前年同期を下回ったこともあり、減益となりました。

発泡プラスチック事業は、原燃料価格の上昇などにより減益となりました。

以上の結果、売上高537億円（前年同期比32億円増（6.5%増））、営業利益55億円（前年同期比7億円減（12.6%減））、経常利益54億円（前年同期比8億円減（13.3%減））となりました。

〔機能化学品事業〕

無機化学品は、半導体・液晶向け薬液の競争環境の激化などにより、減益となりました。

エンジニアリングプラスチックは、原燃料高があったものの、中国を中心に堅調な需要が続くポリカーボネートの市況が高水準を維持したことやスマートフォンのカメラレンズ向け等に使用される特殊ポリカーボネートの販売数量の増加もあり、増収増益となりました。

以上の結果、売上高534億円（前年同期比64億円増（13.8%増））、営業利益83億円（前年同期比20億円増（33.7%増））となりました。また、エンジニアリングプラスチック関連会社を中心とする持分法利益を22億円計上した結果、経常利益は104億円（前年同期比24億円増（30.1%増））となりました。

〔特殊機能材事業〕

電子材料は、主力の半導体パッケージ用BT材料の販売数量がメモリー向けなどを中心に堅調に推移し、増収増益となりました。

「エージレス®」等の脱酸素剤は、販売数量が減少したことなどから、減益となりました。

以上の結果、売上高135億円（前年同期比9億円増（7.8%増））、営業利益14億円（前年同期比3億円増（34.2%増））となりました。また、持分法利益を1億円計上した結果、経常利益は16億円（前年同期比1億円増（10.6%増））となりました。

〔その他の事業〕

その他の事業の売上高は1億円（前年同期比0億円増（13.0%増））、営業利益は0億円（前年同期比0億円減（4.7%減））、経常利益は0億円（前年同期比0億円増（313.2%増））となりました。

（2）財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて0億円減少の7,856億円となりました。

流動資産は、42億円減少の3,799億円となりました。減少の要因は、現金及び預金の減少などです。

固定資産は、42億円増加の4,056億円となりました。増加の要因は、投資有価証券の増加などです。

負債は、95億円減少の2,569億円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の減少などにより93億円減少しました。固定負債は、長期借入金の減少などにより1億円減少しました。

純資産は、95億円増加の5,286億円となりました。増加の要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによる利益剰余金の増加などです。

この結果、自己資本比率は60.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,090	93,347
受取手形及び売掛金	165,606	164,976
有価証券	121	123
商品及び製品	57,958	61,709
仕掛品	11,044	10,066
原材料及び貯蔵品	34,750	34,084
その他	14,847	16,770
貸倒引当金	△1,170	△1,099
流動資産合計	384,249	379,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	80,823	79,447
機械装置及び運搬具(純額)	81,359	78,422
その他(純額)	58,535	63,086
有形固定資産合計	220,717	220,957
無形固定資産		
のれん	3,911	4,049
その他	4,499	5,284
無形固定資産合計	8,411	9,333
投資その他の資産		
投資有価証券	161,391	164,663
その他	11,471	11,258
貸倒引当金	△555	△534
投資その他の資産合計	172,308	175,387
固定資産合計	401,437	405,678
資産合計	785,687	785,657

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,720	82,057
短期借入金	71,155	71,082
未払法人税等	4,133	2,237
引当金	5,643	3,212
資産除去債務	1,522	1,542
その他	35,660	37,317
流動負債合計	206,835	197,449
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	25,328	23,212
引当金	3,549	3,699
退職給付に係る負債	4,592	4,968
資産除去債務	2,420	2,419
その他	13,815	15,234
固定負債合計	59,707	59,533
負債合計	266,543	256,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	34,578	34,580
利益剰余金	399,033	410,120
自己株式	△19,966	△19,967
株主資本合計	455,616	466,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,261	16,970
繰延ヘッジ損益	△0	△4
土地再評価差額金	222	222
為替換算調整勘定	△7,614	△7,757
退職給付に係る調整累計額	1,878	1,730
その他の包括利益累計額合計	11,747	11,161
非支配株主持分	51,780	50,808
純資産合計	519,144	528,674
負債純資産合計	785,687	785,657

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	144,463	162,580
売上原価	108,112	123,839
売上総利益	36,351	38,741
販売費及び一般管理費	22,206	23,139
営業利益	14,144	15,602
営業外収益		
受取利息	93	133
受取配当金	1,046	1,195
持分法による投資利益	5,774	7,087
その他	1,087	993
営業外収益合計	8,002	9,409
営業外費用		
支払利息	262	281
出向者労務費差額負担	509	524
賃貸費用	275	408
為替差損	—	404
その他	346	336
営業外費用合計	1,394	1,955
経常利益	20,752	23,056
特別利益		
固定資産売却益	—	714
投資有価証券売却益	787	100
特別利益合計	787	814
特別損失		
投資有価証券評価損	—	361
債務保証損失引当金繰入額	—	288
特別損失合計	—	650
税金等調整前四半期純利益	21,540	23,220
法人税等	1,964	3,566
四半期純利益	19,575	19,654
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,443	1,091
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,131	18,562

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	19,575	19,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△345	△310
繰延ヘッジ損益	△3	△4
為替換算調整勘定	△186	△2,376
退職給付に係る調整額	△38	△169
持分法適用会社に対する持分相当額	275	1,107
その他の包括利益合計	△298	△1,754
四半期包括利益	19,276	17,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,827	17,977
非支配株主に係る四半期包括利益	1,449	△77

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	天然ガス系 化学品事業	芳香族化学品 事業	機能化学品 事業	特殊機能材 事業	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	34,254	50,504	47,011	12,565	127	—	144,463
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,223	245	239	0	18	△2,726	—
計	36,478	50,749	47,251	12,565	146	△2,726	144,463
セグメント利益 (経常利益)	4,920	6,256	8,033	1,457	2	82	20,752

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額82百万円は、セグメント間取引消去△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等87百万円であります。

全社費用等は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	天然ガス系 化学品事業	芳香族化学品 事業	機能化学品 事業	特殊機能材 事業	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	41,613	53,794	53,484	13,544	143	—	162,580
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,189	89	286	1	24	△2,590	—
計	43,803	53,884	53,770	13,545	168	△2,590	162,580
セグメント利益 (経常利益)	5,526	5,421	10,455	1,612	9	30	23,056

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額30百万円は、セグメント間取引消去52百万円及び各報告セグメントに配分していない
全社費用等△22百万円であります。

全社費用等は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、セグメント間取引の調整方法及び当社の共通費等の配賦方法を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

3. その他

平成31年3月期第1四半期 決算概要

①連結経営成績

(単位: 億円)

	平成30年3月期 第1四半期	平成31年3月期 第1四半期	増減額	増減率	平成30年3月期 通期実績	平成31年3月期 上期予想	平成31年3月期 通期予想
	売上高	1,444	1,625	181	12.5%	6,359	3,200
天然ガス系化学品事業	364	438	73	20.1%	1,747	865	1,692
芳香族化学品事業	507	538	31	6.2%	2,131	1,075	2,152
機能化学品事業	472	537	65	13.8%	2,050	1,057	2,138
特殊機能材事業	125	135	9	7.8%	527	253	519
その他の事業及び調整額	△ 25	△ 24	1	—	△ 98	△ 52	△ 102
営業利益	141	156	14	10.3%	627	270	530
天然ガス系化学品事業	10	9	△ 0	△ 6.6%	54	13	32
芳香族化学品事業	63	55	△ 7	△ 12.6%	256	103	192
機能化学品事業	62	83	20	33.7%	296	139	285
特殊機能材事業	10	14	3	34.2%	42	26	46
その他の事業及び調整額	△ 5	△ 6	△ 1	—	△ 22	△ 12	△ 26
営業外損益	66	74	8	12.8%	179	110	220
経常利益	207	230	23	11.1%	807	380	750
天然ガス系化学品事業	49	55	6	12.3%	142	88	180
芳香族化学品事業	62	54	△ 8	△ 13.3%	245	96	182
機能化学品事業	80	104	24	30.1%	379	167	342
特殊機能材事業	14	16	1	10.6%	55	31	58
その他の事業及び調整額	0	0	△ 0	—	△ 16	△ 3	△ 13
特別損益	7	1	△ 6	△ 79.1%	△ 72	10	40
税金等調整前当期純利益	215	232	16	7.8%	734	390	790
親会社株主に帰属する当期純利益	181	185	4	2.4%	605	300	610
1株当たり当期純利益	84.02円	86.90円	2.88円		281.39円	140.45円	285.57円

※ 平成31年3月期第1四半期 連結範囲 連結子会社 70社 持分法適用会社 16社

営業外損益項目

持分法による投資損益	57	70	13
金融収支	8	10	1
為替差損益	3	△ 4	△ 7
その他	△ 3	△ 2	0
営業外損益合計	66	74	8

	182	110	230
	15		
	1	—	△ 10
	△ 20		
	179	110	220

特別損益項目

固定資産売却益	—	7	7
投資有価証券売却益	7	1	△ 6
特別利益その他	—	—	—
投資有価証券評価損	—	△ 3	△ 3
債務保証損失引当金繰入額	—	△ 2	△ 2
特別損失その他	—	—	—
特別損益合計	7	1	△ 6

	5		
	19		
	4		
	△ 82		
	△ 10		
	△ 7		
	△ 72	10	40

②連結財政状態

(単位:億円)

	平成30年3月期末	平成31年3月期 第1四半期末	増減額
流動資産	3,842	3,799	△ 42
有形・無形固定資産	2,291	2,302	11
投資その他の資産	1,723	1,753	30
資産合計	7,856	7,856	△ 0
有利子負債	1,069	1,047	△ 22
その他の負債	1,595	1,522	△ 73
負債合計	2,665	2,569	△ 95
株主資本	4,556	4,667	110
その他の包括利益累計額	117	111	△ 5
非支配株主持分	517	508	△ 9
純資産合計	5,191	5,286	95
負債純資産合計	7,856	7,856	△ 0

③各種指標推移(連結)

	平成27年3月期 実績	平成28年3月期 実績	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 実績	平成31年3月期 予想
設備投資額(億円)	222	305	350	309	450
(うち第1四半期累計)	39	59	56	61	91
減価償却費(億円)	237	267	256	270	270
(うち第1四半期累計)	56	65	61	64	67
研究開発費(億円)	168	189	192	189	220
(うち第1四半期累計)	39	45	48	45	45
期末人員数(人)	8,254	8,176	8,034	8,009	8,251
ROA(総資産経常利益率)	5.8%	5.9%	8.4%	10.6%	9.3%
ROE(自己資本利益率)	12.6%	9.0%	12.0%	13.6%	12.5%
1株当たり配当金	14.0円	16.0円	38.0円	59.0円	70.0円
(うち第2四半期末)	7.0円	8.0円	8.0円	24.0円	35.0円

④為替・市況前提

	平成27年3月期 実績		平成28年3月期 実績		平成29年3月期 実績		平成30年3月期 実績		平成31年3月期 予想	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
平均為替レート(JPY/US\$)	103	117	122	118	105	112	111	111	110	110
平均為替レート(JPY/EUR)	139	139	135	130	118	119	126	133	130	130
原油価格(Dubai) (US\$/BBL)	104	63	56	36	43	51	50	62	72	70
メタノール(US\$/MT) ※1 (アジアスポット平均価格)	432	358	301	230	230	327	296	381	380	335
原料キシレン (US\$/MT)	1,100	730	740	630	660	680	650	725	810	780
ビスフェノールA ※2 (US\$/MT)	1,600 ~2,000	1,200 ~1,900	950 ~1,500	850 ~1,100	1,000 ~1,200	1,000 ~1,400	1,100 ~1,300	1,200 ~1,700	1,635 ~1,900	1,600 ~2,000
ポリカーボネート ※2 (US\$/MT)	2,500 ~2,700	2,300 ~2,700	2,100 ~2,650	2,000 ~2,400	2,200 ~2,500	2,400 ~2,800	2,500 ~2,900	2,900 ~3,900	3,350 ~3,750	3,000 ~3,600

※1 平成27年3月期は、上期:1-6月、下期:7-12月の価格を表記しております。

※2 期間中の最小値および最大値を表記しております。